



2018年3月22日
みその都市デザイン協議会

さいたま市美園地区の“スタジアムタウン”としての回遊性向上・賑わい形成・交流促進に向けて

『美園スタジアムタウン：河川空間活用計画』を策定

県事業「川の国埼玉はつらつプロジェクト」を活用した“かわまちづくり”の推進

みその都市デザイン協議会（埼玉県さいたま市、会長：久保田尚埼玉大学大学院教授）では、さいたま市美園地区の居住環境向上や来街促進に寄与すべく、本地区を南北に流れる綾瀬川およびそれに付随する大門上調節池の高質化整備や利活用方策について、埼玉県事業「川の国埼玉はつらつプロジェクト」を活用し、2017年4月策定の『みその都市デザイン方針』等に即して計画検討を進め、その成果を『美園スタジアムタウン：河川空間活用計画』として2018年3月に策定いたしました。

同計画に基づいて、東京五輪の開催される2020年を目標に順次詳細設計・整備および管理・活用を進めてまいります。綾瀬川遊歩道の先行区間整備は今春に着手予定です。

さいたま市の“副都心”の一つに位置づけられている「美園地区」では、大規模な土地区画整理事業を核とした都市開発が進行中で、住宅供給や店舗建設等も日々進展してきていますが、本地区の快適な都市環境づくりを一層推進する上では、“オープンスペース”としての河川空間の有効利活用が課題となっています。本地区を南北に流れる綾瀬川について、埼玉県（河川管理者）による治水整備・水質改善も進められてきていますが、地域の回遊性向上や賑わい形成、交流促進に向けては、堤防上の散策ルート整備や河川調節池の多目的利用が期待されており、特に、埼玉スタジアム 2002 公園に南接する大門上調節池は、地域の憩いの場としてだけでなく、同公園と連携した集客イベント開催などの利活用ポテンシャルを有しています。



▲綾瀬川の概況



▲大門上調節池の概況

そこで、みその都市デザイン協議会^{※1}では、市町村・地域の取り組みと連携した水辺空間の整備・拡充を埼玉県が行う「川の国埼玉はつらつプロジェクト」を活用し、一般参加も募った「綾瀬川デザインワークショップ」^{※2}を開催しながら、2017年4月策定の『美園スタジアムタウン憲章』^{※3}や『みその都市デザイン方針』^{※4}等に即した計画検討を進めてまいりました。この度、その検討成果を基本計画として取りまとめた『美園スタジアムタウン：河川空間活用計画』を2018年3月に策定いたしました。

同計画に基づいて、東京五輪の開催される2020年を目標に順次詳細設計・整備および管理・活用を進めてまいります。まずは「綾瀬川遊歩道」の先行区間舗装整備（埼玉県事業）が今春着手予定です。同先行区間をモデルケースに、沿川の自治会や民間事業者、県・市の連携・役割分担に基づく河川沿いオープンスペースの管理・活用スキームを構築し、遊歩道整備の進捗に合わせた沿川展開を進めていく予定です。また、「大門上調節池広場」についても、埼玉スタジアム 2002 でのサッカー開催その他集客イベント開催時および平常時の利活用方法を見据えながら、公民連携に基づく整備・管理・活用スキームの詳細化を進めてまいります。

『美園スタジアムタウン：河川空間活用計画』概要

■綾瀬川遊歩道 整備目標

- ▶ 地域住民や沿川施設利用者等が安全・安心・快適に楽しく回遊でき、人の交流が生まれる場
- ▶ 上流・下流、見沼とつながり、地域住民が健康づくり・スポーツに取り組める場
- ▶ 多様な生物が棲み、子供が自然と触れ合える場

■大門上調節池広場 整備目標

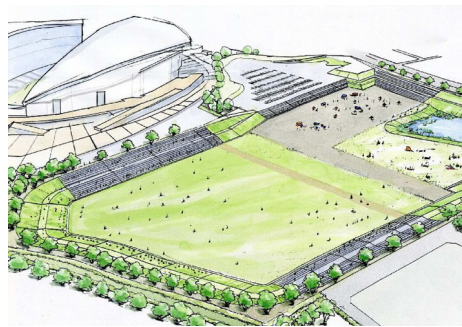
- ▶ 埼玉スタジアム2002公園と連携し、外から人を呼び込む賑わい・交流の場
- ▶ 地域住民が様々なスポーツや健康づくりができる場
- ▶ 緑に囲まれ、生物が生息できる場



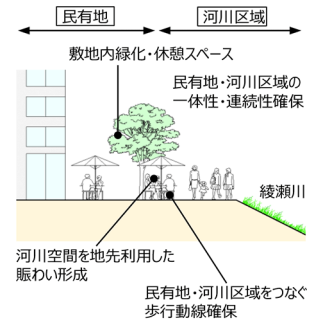
▲全体計画図(部分抜粋)



▲綾瀬川遊歩道(整備イメージ)



▲大門上調節池広場(整備イメージ)



▲歩行交流拠点イメージ

- ※1 **みその都市デザイン協議会について：** さいたま市美園地区の個性と魅力ある都市空間・都市環境の実現に向けて、2016年3月に設立（事務局：さいたま市浦和東部まちづくり事務所・一般社団法人美園タウンマネジメント）。地元組織・行政・立地企業・大学など「公民+学」の各主体が参画し（18団体：2018年3月時点）、本地区のまちづくり拠点施設「アーバンデザインセンターみその（略称：UDCMi）」を協働・情報発信の場として、主にまちづくりに係るハード面の検討・協議・調整に取り組む。地域の空間資源を活かしながら、街並み景観・公共空間・交通環境など、新たな都市基盤上に形成する空間・環境の質の向上を目指している。
- ※2 **綾瀬川デザインワークショップについて：** 綾瀬川沿川の自治会関係者などさいたま市美園地区周辺の地域住民や、区内立地企業、沿川敷地の開発事業者など本地区のまちづくりに係る幅広い層にお集まりいただき、2017年7月24日・8月7日・8月28日の計3回開催。
- ※3 **美園スタジアムタウン憲章について：** 住民・地権者・民間企業・行政機関・大学など、さいたま市美園地区のまちづくりに係る主体間の連携・協働の促進に向けて、将来都市像や基本理念を先行的に整理し、共有を図るための“まちづくり憲章”として2017年4月に策定・公表（策定主体：美園タウンマネジメント協会、みその都市デザイン協議会）。
- ※4 **みその都市デザイン方針について：** さいたま市美園地区において大規模な都市開発の進み中で、道路等の都市インフラの供用開始や宅地の使用収益開始が本格化している状況を受け、『美園スタジアムタウン憲章』に即しながら取りまとめられた、空間デザイン・環境デザイン等に係る本地区の共通指針。2017年4月に策定・公表（策定主体：みその都市デザイン協議会）。

「この件についてのお問い合わせ先」

一般社団法人美園タウンマネジメント（担当：岡本）
 Phone. 048-812-0301
 E-mail. info@misono-tm.org